

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

例会場 名古屋グレストンホテル TEL 052-264-8000
 例会日時 木曜日 12:30
 クラブ会報広報委員長 松尾雄二郎
 HP <http://rc.nagoya-seinarl.org/>

2016-17年度RIテーマ
 会長 ジョンF.ジャム



承認 1995328
 会長 森田 正樹
 幹事 成田 勝彦
 事務局 名古屋市中区栄3-29-1
 名古屋グレストンホテル 1007号
 TEL 052-263-1324
 FAX 052-263-0730
 Email seinarl@fancyocnre.jp

森田正樹会長 年度目標 : ロータリーに学び、参加し、楽しもう

第1038回 例会	No. 38 平成29年 5月25日 (木)
■ ローターソング	「それこそロータリー」
■ 出席報告	会員47名中20名出席
■ 出席率	48.78% 出席計算人数41名
■ 修正出席率	5月11日 95.35%
■ ゲスト	古川知足会 林 奈美恵様 西名古屋分区幹事 岩佐信樹さん // 分区副幹事 長瀬廣幸さん

会長挨拶 森田正樹

皆さん、こんにちは。
 昨日まで東京の銀座・渋谷という日本の中心部を廻ってきたのですが、すごい人でホテルが全然とれません、日本は景気がいいのだなと実感しました。
 名古屋では、大企業では最高益を出したところも数々ありますが、私どもの中小企業では全くそんなことはありません。錦のクラブは暇ですが、銀座のクラブは満席で入れません。もともと中部地方は安定した製造業の街という実感でしたが、ちょっと違う方向へ向かっているのかな、産業が変化しているのかなと思いつつ帰ってきました。
 本日の卓話は、以前一度お話頂いて絵の見方がよくわかったと大変好評でしたので、リクエストで林奈美恵さんにお越しいただきました。皆でもう一度絵画の勉強をしたいと思いますので宜しくお願いします。

ニコBOX

西名古屋分区幹事 岩佐信樹さん
 // 分区副幹事 長瀬廣幸さん
 3月と4月に開催されました、今年度分区行事である【インターシティミーティング】並びに【ポリオ撲滅チャリティゴルフコンペ】に際して、皆様より多大なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。誠に有難うございました。
 ●本日は名画の楽しみ方について古川美術館の学芸主任 林奈美恵様よりお話を伺います。林様、ようこそお越し下さいました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。
 森田会長、成田幹事、藤田、安藤、岩田、松尾、中野、加藤、安江、矢野、小原、水野、山崎、長谷川、宮崎、後藤、古川、西川、大橋、磯部 (敬称略)
 本日合計 52,000円

例会のご案内
 ◎6月1日(木)第1039回例会
 外部卓話 栄献血ルーム事業課主管 秋田治彦様
 ◎8月8日(木)第1040回例会 会員卓話 松尾雄二郎さん

インターシティミーティングの御礼

西名古屋分区幹事 岩佐信樹

みなさん、こんにちは。
 貴重な時間をいただき有難うございます。3月に行われましたIMと、4月のポリオ撲滅チャリティゴルフに多数のご参加を頂き御礼に参りました。
 日頃は分区行事に何かとご協力賜りまして誠に有難うございます。IMにおきましては、436名のご登録、ポリオ撲滅チャリティゴルフには133名のご参加を頂きました。これもひとえに皆様の温かいご支援の賜物と、高いところから大変ご無礼ではございますが心より御礼申し上げます。昨日、東南RCに伺いましたが、すでに来年のIM実行委員会が動き出しておられました。来年度もどうぞご協力賜りますよう宜しくお願い致します。



委嘱状伝達

地区米山記念奨学委員会委員 磯部 徹



おひさま保育園閉園のお知らせ

西川 博

東北の大震災のときに、ストーブや制服を寄付させていただいたおひさま保育園がこの3月25日で閉園されることになりましたのでお知らせ致します。震災後、吉田光一さんが支援されていた活動は、石巻の4RCのご協力をいただいで支援を続けることができました。

平成23年に石巻のクラブの方に探していただいた何ヶ所かにストーブを、平成25年11月26日にはおひさま保育園に幼児・保育士の制服をニコBOXから寄付しました。園長先生がご高齢で体調がすぐれず、また園も仮設で6年間運営されてきたのですがこの先は難しいという事で閉演される事になったようです。

幹事報告

成田勝彦

次週は例会前に理事会がございます。理事役員の方へはご出席お願い致します。先ほど西川さんからおひさま保育園のお話を伺いましたが、吉田さんと西川さんには何度も何度も東北へ行っていただきました。本当に有難うございました。

卓話

「名画の鑑賞方法」

公益社団法人古川知足会 学芸課主任 林 奈美恵

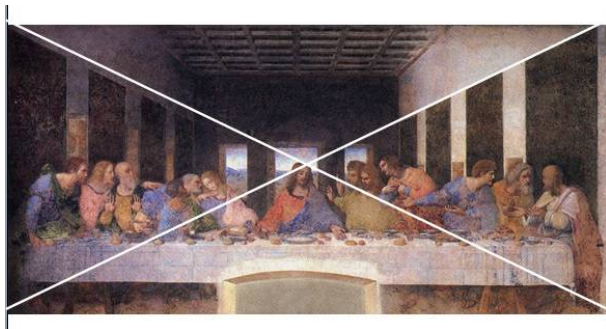
本日は、絵を購入する時にどういった点に注目したらよいかについてもお話に交えながら、日本と西洋に分けて観ていただきます。(パワーポイント)

名画はこうして観る！—東西の遠近法



こちらは長谷川等伯の松林図屏風です。墨の濃淡によって遠近を作っています。ただ、この絵は日くつきで実は下絵ではないかと言われており、それはもう一枚類似する作品があるからです。あと、屏風の線が微妙につながらないところから、最初に一枚オリジナルを作り、描き直してそれを貼り合わせたのではないとも言われています。木の形は同じものを連続して描いているのですが、墨の濃淡によって奥行きを作っています。

このように、東洋の遠近法というのは非常に変わっておりまして、西洋のとは大きく違います。



こちらはダヴィンチの「最後の晩餐」ですが、教会の壁画として描かれたものです。キリストの額に釘を打った跡があり、そこから四方に線を引き、線の区切りによって色

を使い分けるという、ダヴィンチがいち早く開発した線による遠近法です。手前の人物に赤、背景にブルーやグリーンを使用し、人間の眼の特徴で赤が飛び出て見えるということによる、色による遠近法でもあり、世界一安定した構図と言われています。

こちらの有名な尾形光琳による杜若は、日本で初めてのスタンプ画で杜若はスタンプされて描かれています。彼の絵は現存されているものが極端に少なく、それというのも主にお城のふすまに描いたものですから、お城が燃えると一緒に消えてしまうわけです。

モネは贋作が多いので購入の際はお気を付け下さい。多作家でしたので贋作も多いのです。当時は印象派の絵は世間から絵とは認めてもらえませんでした。記録となるようにきっちり正確な絵が正しいとされていたので、お前の絵は自分の受けた印象を書いただけじゃないか、といわれたモネがそこから印象派の名を作りました。彼は世間になんと言われようと自分の描きたいものを描くというスタンスを変えませんでした。その頃ちょうどカメラが発明され、記録としての絵画は必要なくなっていくのです。ルノワールもこの時代の人で、人物像に木漏れ日があたっているのを表現したところ、人物に紫斑、死斑が出ていると酷評されました。それから彼は黒色は使わなくなり、パレットから黒の絵の具はなくなりました。日本の絵画は、ルノワールから発展しているのでやはり初期の日本の絵の具には黒がありませんでした。日本人で黒を使った最初の画家は藤田嗣治と言われています。



最後に若沖の絵を購入する場合を例に、いくつかの留意点をお話頂きました。

墨のにじみ、印鑑(落款)の疵、展覧会の来歴があれば付けてもらう etc.

